エクシード™フロアブル

Isoclast™active

水稲用殺虫剤

WCS*OK

水稲の吸汁性害虫防除に、唯一のスルホキシイミン系殺虫剤。

水稲の大敵、斑点米カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイに
優れた殺虫効果を発揮！
吸汁性害虫防除のスペシャリストが、
速効力と持続力でお米づくりをサポートします。

無人航空機に対応！

★池田二三高氏撮影



斑点米を徹底阻止！
吸汁性害虫防除のスペシャリスト！

＊農林水産省HP「WCS用稲に使用できる農薬のリスト」で使用できる農薬として記載されています。

CORTEVA™ agriscience

NICHINO 日本農薬株式会社

Visit us at corteva.jp

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

■特長

■農林水産省登録：第24019号　■有効成分：スルホキサフロル…20.0%　■性状：淡褐色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類　4C

1：唯一の「スルホキシイミン系」殺虫剤です。

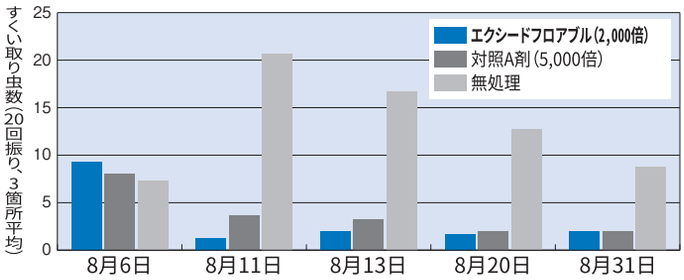
2：水稲で問題となる※斑点米カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイに安定した効果を示します。

3：散布回数は3回まで、収穫7日前まで使用できます。（稲）

※カスミカメムシ科、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、ミナミアオカメムシなど各種斑点米カメムシ類に対し、優れた斑点米抑制効果を示します。

■アカスジカスミカメへの効果

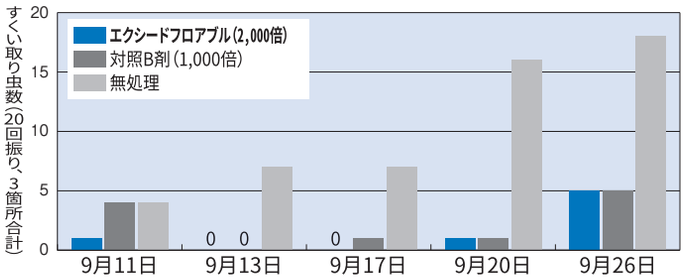
2010年（社）宮城県植物防疫協会



【試験概要】●発生状況：多発生　●品種：ひとめぼれ（移植；5月17日）　●区制：1区121.6㎡（19m×6.4m）反復なし（3箇所調査）　●処理方法：8月7日（穂揃期）と8月14日に動力噴霧機にて120ℓ/10aを散布　◆調査方法：1回目薬剤処理前日（8月6日）、処理4日後、6日後（2回目処理前日）、2回目処理6日後、17日後に、各区20回すくい取りし、捕獲虫は計数後のすくい取り位置に戻し、場所が重ならないように3箇所を調査

■ミナミアオカメムシへの効果

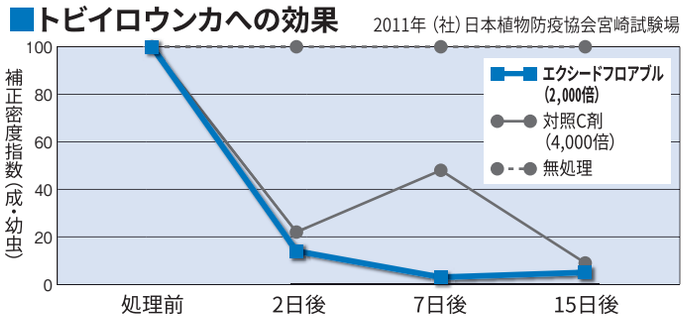
2013年 社内試験（福岡県小郡市圃場）



【試験概要】●発生状況：ミナミアオカメムシ；中発生、クモヘリカメムシとアカスジカスミカメ；少～中発生　●品種：ヒノヒカリ（移植；6月25日）　●区制：1区120㎡（8m×15m）反復なし（3箇所調査）　●処理方法：9月12日（穂揃期5日後）に動力噴霧機にて100ℓ/10aを散布　◆調査方法：薬剤処理前日、処理1、5、8、および14日後に各区3箇所補虫網で20回すくい取り調査

■トビイロウンカへの効果

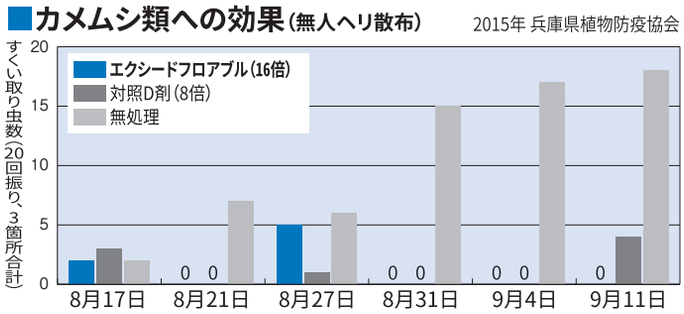
2011年（社）日本植物防疫協会宮崎試験場



【試験概要】●発生状況：少発生（区内中央に成幼虫約500頭を放飼）　●品種：ヒノヒカリ（移植：6月26日）　●区制：1区100㎡（9.1×11.0m）反復なし（3箇所調査）　●処理方法：9月5日（乳熟期）に背負式動力噴霧機を用いて114ℓ/10aを散布　◆調査方法：9月5日（処理前）、処理2、7、15日後に、区内3箇所のそれぞれ10株に生息している虫を粘着板へ払い落し、成・幼虫数を調査

■カメムシ類への効果（無人ヘリ散布）

2015年 兵庫県植物防疫協会



【試験概要】●発生状況：少発生→中発生（クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ、シラホシカメムシ）　●品種：ヒノヒカリ（移植;6月10日）　●区制：1区7.5×53m、反復なし（3箇所調査）　●処理方法：8月17日（穂ばらみ期）と8月28日（穂揃期）に無人ヘリにて8ℓ/haを散布　◆調査方法：第1回散布前、同4日後、第2回散布前日、同3日後、同7日後、同14日後に1区あたり3箇所で20回振りすくい取り調査

■エクシードフロアブルの適用害虫と使用方法

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数（倍）	10アール当り使用液量	使用時期	使用方法	本剤およびスルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
稲	―	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	2,000	60～150ℓ	収穫7日前まで	散布	3回以内
			500	25ℓ			
			16	0.8ℓ		無人航空機による散布	
		イナゴ類	2,000	60～150ℓ		散布	
水田作物 畑作物 （休耕田）	ヨシ、オギ、ススキ、 セイタカアワダチソウ等の 多年生雑草が優占している休耕田	カメムシ類			―		
だいず	―			100～300ℓ	収穫14日前まで		
			16	0.8ℓ		無人航空機による散布	
えだまめ	―		2,000	100～300ℓ	収穫前日まで	散布	2回以内
			16	0.8ℓ		無人航空機による散布	

■使用上の注意事項

●使用前に容器をよく振ってから使用してください。
●本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●本剤を稲に対して希釈倍数500倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
・散布は各散布機種の散布基準にしたがって実施してください。
・散布機種に適合した散布装置を使用してください。
・散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
・散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
・ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
・関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●散布器具及び容器の洗浄水等は河川等に流さないでください。また、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
●直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載以外には使用しないでください。　●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。　●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2025年7月現在の知見に基づき、作成されています。

LINE公式アカウントはじめました!
友だち募集中
最新情報をLINEで配信!
@nichino

販売：NICHINO 日本農薬株式会社
東京都中央区京橋1丁目19番8号
TEL:0570-09-1177　URL:https://www.nichino.co.jp/

製造：コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社

2025年8月作成版（CO）FU12508S